

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課：文化課

施策名	18 文化・芸術・歴史
政策名	「まち」を共に創る
施策がめざす将来の姿	・市民のだれもが芸術文化に親しんでいます。 ・市民共有の財産である歴史や文化財について、市民がその重要性を認識し、適切な保存、活用がされています。

2 施策評価指標

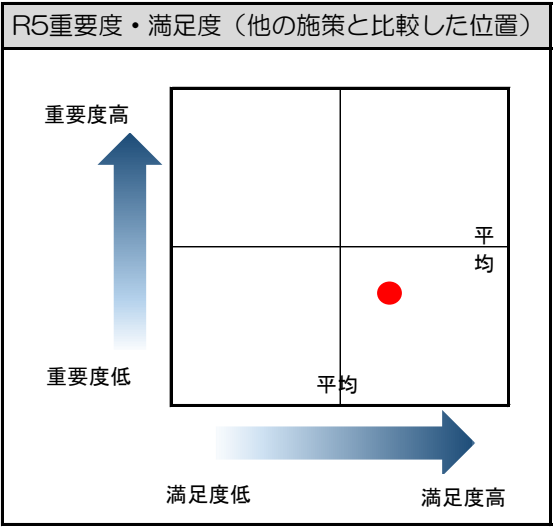
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標		
過去1年間に芸術文化を鑑賞した人の割合	%	33.6	80.0		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	39.3				

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（％）
令和5年度
97.8

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和4年度		令和5年度
93.7		93.8

※増減（→）の基準は3ポイント以上とする



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

広く市民の方々に知ってもらうため、音楽イベントや文芸関連事業のPRにおいて工夫を凝らし、入場者数や来館者数の増加を図ります。
文芸作品展や美術展は募集内容の見直しや新しくした審査方式を継続して出品者数や出品数の増加を図ります。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業名①：文化振興事業

R5決算額 （千円）	重点化(縮小)する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
5,082				各事業は、数十年の歴史がある恒例行事となっており、今後も継続して行う必要があります。特に美術展については、審査方式を継続して出品数の増加等を図り、若い世代（高校生など）の出品者を増やすよう取り組みます。	

事務事業名②：文化人材支援事業

R5決算額 （千円）	重点化(縮小)する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
2,678				芸術文化活動を生涯継続して実施していくには、受け皿となる団体が必要であり、また、市民が鑑賞、体験する機会を各団体が取り組み、文化のまちづくりを担ってもらうため、現在ある団体の活動が継続できるよう支援します。	

事務事業名③：子ども文化事業

R5決算額 （千円）	重点化(縮小)する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,300				子どもの頃から文化芸術に触れることは、心の成長につながります。この事業は郷土の偉人、円空と松尾芭蕉の弟子、惟然にちなみ、木の造形と俳句をベースとした全国規模の行事であります。この行事により、子どもたちの郷土理解の養成、関市の知名度向上を図ります。	

事務事業名④：市民の劇場事業

R5決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
44,141	市民の劇場【文化会館】	↗	↗	関市文化会館や5地域のホールにて、各世代に応じた様々なジャンルの公演やイベントを開催することで、高齢者から乳幼児まで多くの市民が文化芸術に触れる機会を提供し、心豊かなまちづくりに繋がります。	○
	ホールアウトリーチ	→	↗		